

資料提供先：鳥取県政記者クラブ
米子市政記者クラブ

令和3年11月26日
中国地方整備局
日野川河川事務所

日野川上流域から海岸への効果的な土砂の供給方法を考えます

～「日野川流砂系総合土砂管理技術検討委員会」を開催～

日野川流砂系では、皆生海岸の海岸浸食、日野川の河口閉塞、河道内の砂州の樹林化や局所洗掘、大山等の土砂災害の発生、ダム堆砂の進行等の多くの課題があります。

これらの課題（土砂供給対策）について、関係機関において各種対策を実施していますが、取り組みを具体的に進めていくため、学識者を中心として技術的、学術的な内容の検討・検証を行う『日野川流砂系総合土砂管理技術検討委員会』を開催します。

山地域～海岸域までの流砂系全体でとらえ、総合的に土砂の流れの改善にむけた対策を実施し、可能な限り海岸領域への土砂供給を行うことを目指すべき姿とした「日野川流砂系の総合土砂管理計画」を平成27年に策定しています。

「日野川流砂系の総合土砂管理計画」は、河川、ダム管理者や自治体などで構成する「日野川水系及び皆生海岸総合土砂管理連絡協議会」において策定し、その後もフォローアップを実施しています。しかし、土砂移動現象の把握など技術的課題が多いため、学術的、技術的内容の検討・検証実施のために学識者を含めた「日野川流砂系総合土砂管理技術検討委員会」を設置して指導・助言をいただきます。

※総合土砂管理：山地から流出した土砂が河川を流下し、海岸に到達するまでの全体の過程を視野に入れ、土砂移動の実態を捉えた上で、土砂に起因する災害、治水・利水への影響、環境への影響等の課題について、総合的な対策・管理を実施していくことです。

【委員会概要】

日時：令和3年11月30日（火）午前10時00分～12時00分

場所：鳥取県庁 議会棟3階 「特別会議室」（鳥取県鳥取市東町1丁目220）

内容：別紙－1のとおり

出席者：別紙－2のとおり

※取材を希望される場合は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用、身体的距離の確保等ご協力をお願いします。

○お問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 日野川河川事務所

（技）副所長 岡崎 （内線204）

調査設計課長 栗原 （内線351）

TEL（0859）27－5484 / FAX（0859）27－2431

ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/hinogawa/>

日野川流砂系総合土砂管理技術検討委員会（第 2 回）

開催日時：令和 3 年 11 月 30 日（火）

10 時 00 分～12 時 00 分

開催場所：鳥取県庁 議会棟 3 階

「特別会議室」

議 事 次 第（案）

1. 開会
2. 開会挨拶（日野川河川事務所長）
3. 委員紹介
4. 設立趣旨・規約
5. 委員長の選出
6. 委員長挨拶
7. 議事
 - （1）総合土砂管理計画の概要
 - （2）日野川流砂系の現状と課題
 - （3）土砂管理対策及びモニタリングの実施状況
 - （4）今後の土砂管理対策及びモニタリング計画
 - （5）土砂移動予測モデルの見直し状況
 - （6）総合土砂管理計画の見直し
 - （7）今後の課題
8. 閉会

※本会議では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用及び身体的距離の確保などの感染症予防対策を行ったうえで開催いたします。

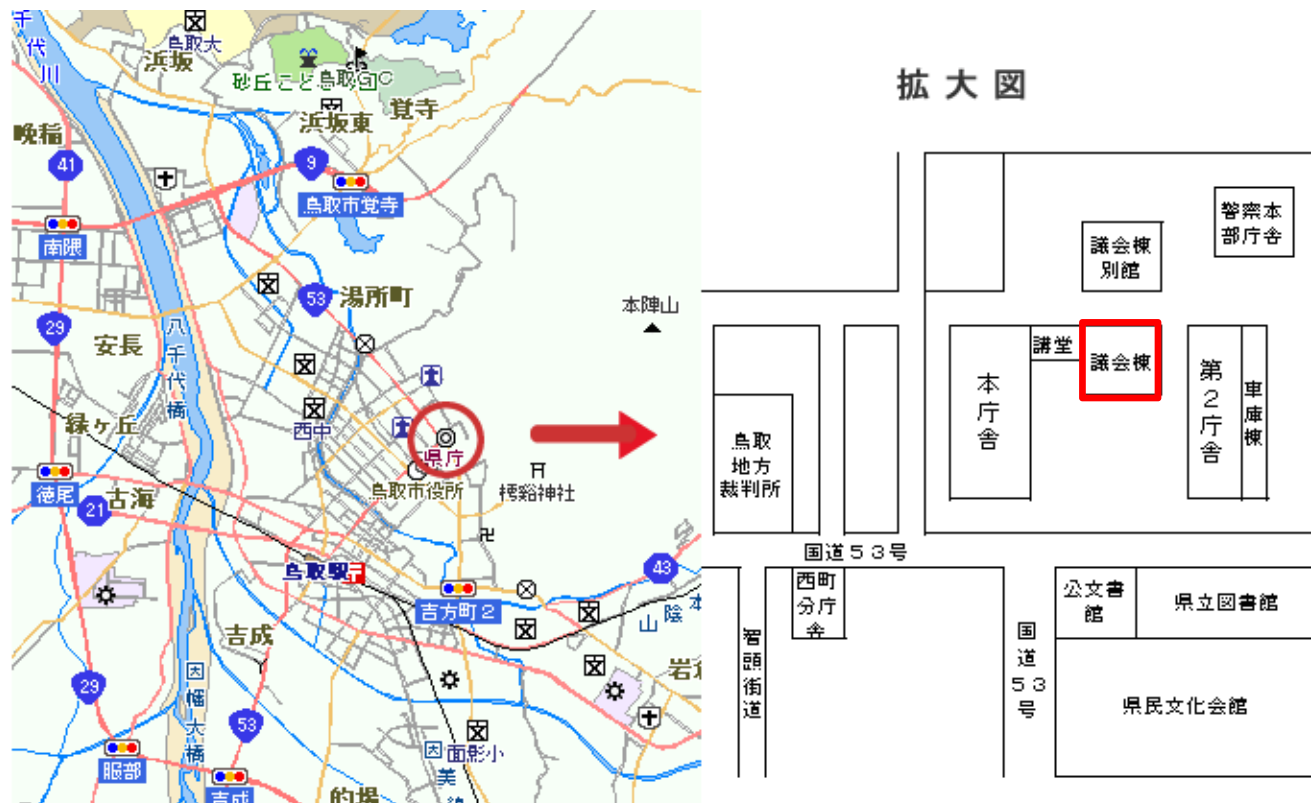
日野川流砂系総合土砂管理技術検討委員会 委員名簿

委員	氏名	専門分野	所属
学識者	くろいわ まきみつ 黒岩 正光	海岸工学	鳥取大学工学部 社会システム土木系学科教授
	す み ひろゆき 鷺見 寛幸	環境（植物）	大山町教育委員会教育長
	み わ ひろし 三輪 浩	河川工学	鳥取大学工学部 社会システム土木系学科教授
	わ だ たかし 和田 孝志	砂防工学	鳥取大学工学部 社会システム土木系学科助教
行政	いけだ のりお 池田 典男	—	鳥取県県土整備部河川課長
	いまづ つとむ 今津 勉	—	国土交通省中国地方整備局 日野川河川事務所長
	やまね ひろふみ 山根 裕文	—	鳥取県県土整備部治山砂防課長

五十音順 敬称略

■開催場所

鳥取県庁 議会棟3階「特別会議室」
(鳥取県鳥取市東町1丁目220)



議会棟各階の課・室等

3階	(病院局) ■ 病院事業管理者 ■ 総務課 (県議会) ■ 傍聴席 ■ 議会史編纂室 ■ 第12会議室 ■ 第13会議室 ■ 第14会議室 ■ 第15会議室 ■ 特別会議室
2階	■ 議場 ■ 議長室 ■ 副議長室 ■ 議長応接室 ■ 執行部控室 ■ 第1議員応接室 ■ 第2議員応接室 ■ 県政記者室 ■ 図書室 ■ 議会事務局局長室 ■ 議会事務局
1階	(総務部) ■ 行政監察・法人指導課 ■ (会計管理局) ■ 工事検査課 (県議会) ■ 託児室

鳥取県庁HPより

＜本計画の特徴＞

1. 海岸保全対策により、皆生海岸の海岸線の維持・回復を図りつつ、各領域の土砂供給能力を最大限に引き出す対策を実施し、**可能な限り海岸領域への土砂供給を行う**
2. 計画で定めた実施方針にしたがって、関係機関が連携して、**総合的に土砂動態の改善を図っていく**

＜計画対象期間＞

土砂動態を評価する期間として、30年程度を設定

＜海岸領域への供給土砂量を増やす様々な取組＞

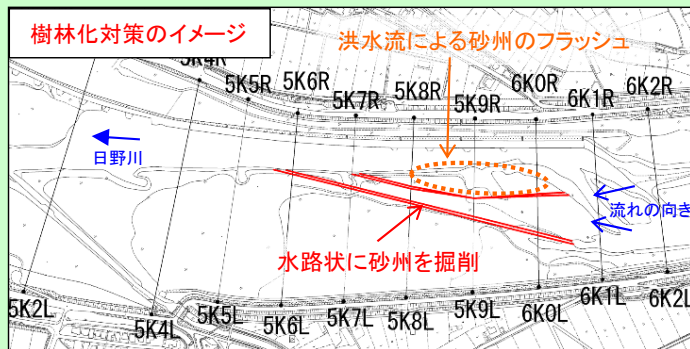
海岸領域

- 沖合防護施設
- サンドリサイクル、養浜など



河川領域

- 河道掘削土砂による置き土
- 砂州の掘削による効率的な樹林化対策



河口領域

- 河口砂州の維持掘削土砂による養浜



砂防領域

- 透過型砂防堰堤の整備
- 既設砂防堰堤のスリット化

ダム領域

- ダム貯水池の浚渫土砂によるダム下流部への置き土

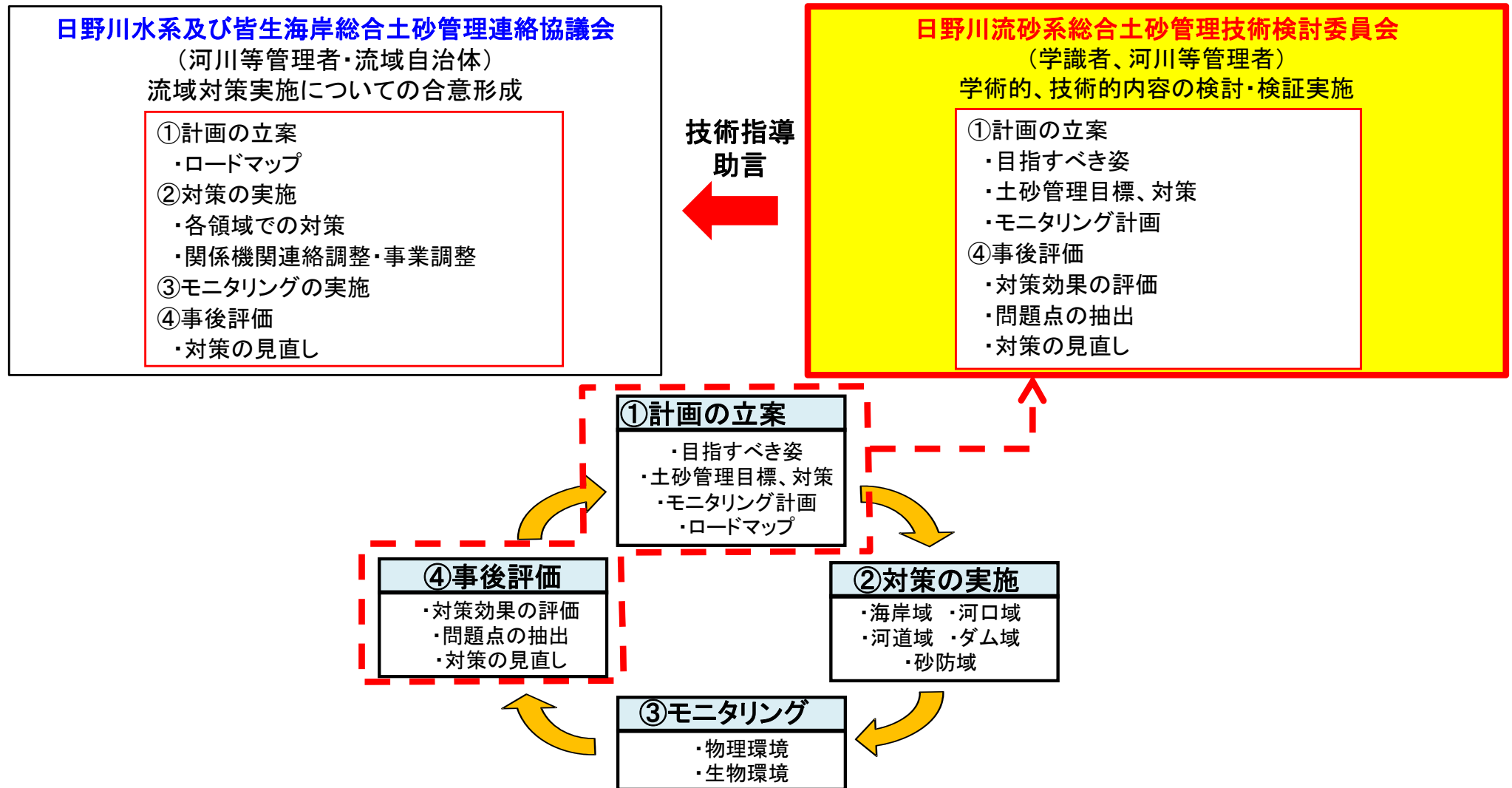


□ S60～H24平均通過土砂量(現況)

□ 土砂管理対策実施後の通過土砂量

総合土砂管理計画の取り組みの推進に向けて

- 「日野川流砂系の総合土砂管理計画」は、関係する管理者や自治体などで構成する「**日野川水系及び皆生海岸総合土砂管理連絡協議会**」において平成27年に策定し、その後、各対策のフォローアップを実施しています。
- しかし、土砂移動現象の把握等技術的課題が多く、学術的、技術的内容の検討・検証実施のために連絡協議会とは別に学識者を含めた「**日野川流砂系総合土砂管理技術検討委員会**」を設置して指導・助言をいただきます。



総合土砂管理計画フォローアップに向けてのPDCAサイクル